

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ハッカ油(スプレー式)
会社名	健栄製薬株式会社
住所	大阪府大阪市中央区伏見町2-5-8
担当部門	学術情報部
電話番号	06-6231-5822

2. 危険有害性の要約 <sup>1,2)</sup>

## 【GHS分類】

引火性液体	:区分 4
急性毒性(経口)	:区分 4
急性毒性(経皮)	:分類できない
皮膚腐食性・刺激性	:区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	:区分 2
呼吸器感作性	:分類できない
皮膚感作性	:区分 1
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない
生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	:分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	:分類できない
吸引性呼吸器有害性	:区分 1
水生環境急性有害性	:区分 2
水生環境慢性有害性	:区分 2
オゾン層への有害性	:分類できない

## 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル、注意喚起語

## 危険

## 危険有害性情報

可燃性液体  
 飲み込むと有害  
 皮膚刺激  
 強い眼刺激  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
 水生生物に毒性  
 長期的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 安全対策(予防策)

- ・火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
- ・保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
- ・換気の良い場所で使用し、揮発成分の蒸気(ペーパー)・粉じんの吸入を極力避けること。
- ・取扱い後は十分に手洗いをすること。

## 応急措置(対応)

- ・皮膚や衣服に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
- ・飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合は、医師の診断・手当てを受けること。
- ・漏出物を回収し、環境への放出を避けること。

## 保管(貯蔵)

- ・換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管すること。

## 廃棄

- ・残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
一般名	ハッカ油もしくは、ハッカ香料
一般名の CAS NO. <sup>2)</sup>	90063-97-1/91722-84-8/68917-18-0
官報公示整理番号 <sup>3)</sup>	化審法: なし
(化審法・安衛法)	安衛法:111-(1)-458

## 成分及び含有量

成分名	CAS NO.	含有量
トリモネン	5989-54-8	1~7%

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体  
の保温に努める。  
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。  
必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗  
浄する。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。  
無理に吐かせてはいけない。  
応急措置を施した後、直ちに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水、水噴霧
- 特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。  
消火作業は可能な限り風上から行う。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。  
火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行なう者の保護 : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。
- 回収、中和、封じ込め及び洗浄方法・機材 : 固体の場合には、漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。  
少量の液体の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密封できる金属容器等に回収して適切に処理する。  
多量の液体の場合には、盛土で囲って流失を防止し、安全場所に導いてから適切に処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
- 局所排気・全体換気 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
- 注意事項 : 暴露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。  
蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。  
取扱い後は十分に手洗いをする。

## 保管

- 保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所(又は指定の場所)に密栓して保管する。  
消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 保護マスク
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護服(長袖作業服等)

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状	: 液体
色	: 無色から微黄色透明
臭い	: 特有の香り
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 71°C(タグ密閉式)
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 0.89~0.91(25°C/25°C)
溶解度	: 水: ほとんど溶けない
n-オクタノール/水分係数	: データなし
自然発温度	: データなし
分解温度	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性はなし。
避けるべき条件	: 特記すべき条件はなし。
混触危険物質	: 特記すべきものはなし。
危険有害な分解生成物	: 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

## 11. 有害性情報

製品(混合物)および主要成分の情報(GHS分類)は、第 2 項および別表のとおり。

## 12. 環境影響情報

製品(混合物)および主要成分の情報(GHS分類)は、第 2 項および別表のとおり。

## 13. 廃棄上の注意

残余内容物、容器、包装等は、産業廃棄物として適正に処分する。

## 14. 輸送上の注意

## 国内法規制

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	航空法等に定められている輸送方法に従う。

## 国際規制

国連番号	: 3082 <sup>2)</sup>
国連分類	: クラス 9(有害性物質)容器等級Ⅲ <sup>2)</sup>
海洋汚染物質	: 該当
輸送上の特別の安全対策及び条件	: 容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。 火気厳禁とする。 消防法危険物の第一類及び第六類と混載しない。

## 15. 適用法令

消防法	:	第四類第三石油類(非水溶性)
食品衛生法	:	食品添加物
薬事法	:	日本薬局方 医薬部外品原料規格
労働安全衛生法	:	危険有害物質等 特定危険有害物質等
船舶安全法	:	環境有害物質(液体)
海洋汚染防止法	:	海洋汚染物質

※本内容は JIS Z 7253:2012 及び JIS Z 7252:2014 に準じて作成

## 16. その他の情報

## 引用文献

- 1)香料の GHS 対応の手引き(改訂 2 版) 日本香料工業会
- 2)IFRA-IOFI Labeling Manual 2015 日本香料工業会より提供
- 3)独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

## 記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

## 別表

製品(混合物)及び主要成分の有害性情報、環境影響情報 (GHS 分類) 1),2)

有害性項目	製品(混合物) GHS 分類	主要成分の GHS 分類
		トリモネン
1.急性毒性(経口) LD50(ラット)mg/kg LD50(ラビット)mg/kg	区分 4 - 1240	分類できない - -
1.急性毒性(経皮) LD50(ラビット)mg/kg	分類できない	分類できない
2.皮膚腐食性・刺激性	区分 2	区分 2
3.眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A	分類できない
4.呼吸器感受性	分類できない	分類できない
4.皮膚感受性	区分 1	区分 1B
5.生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
6.発がん性	分類できない	分類できない
7.生殖毒性	分類できない	分類できない
8.特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない	分類できない
9.特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない	分類できない
10.吸引性呼吸器有害性	区分 2	分類できない
11.水生環境急性有害性	区分 2	区分 1
11.水生環境慢性有害性	区分 2	区分 1